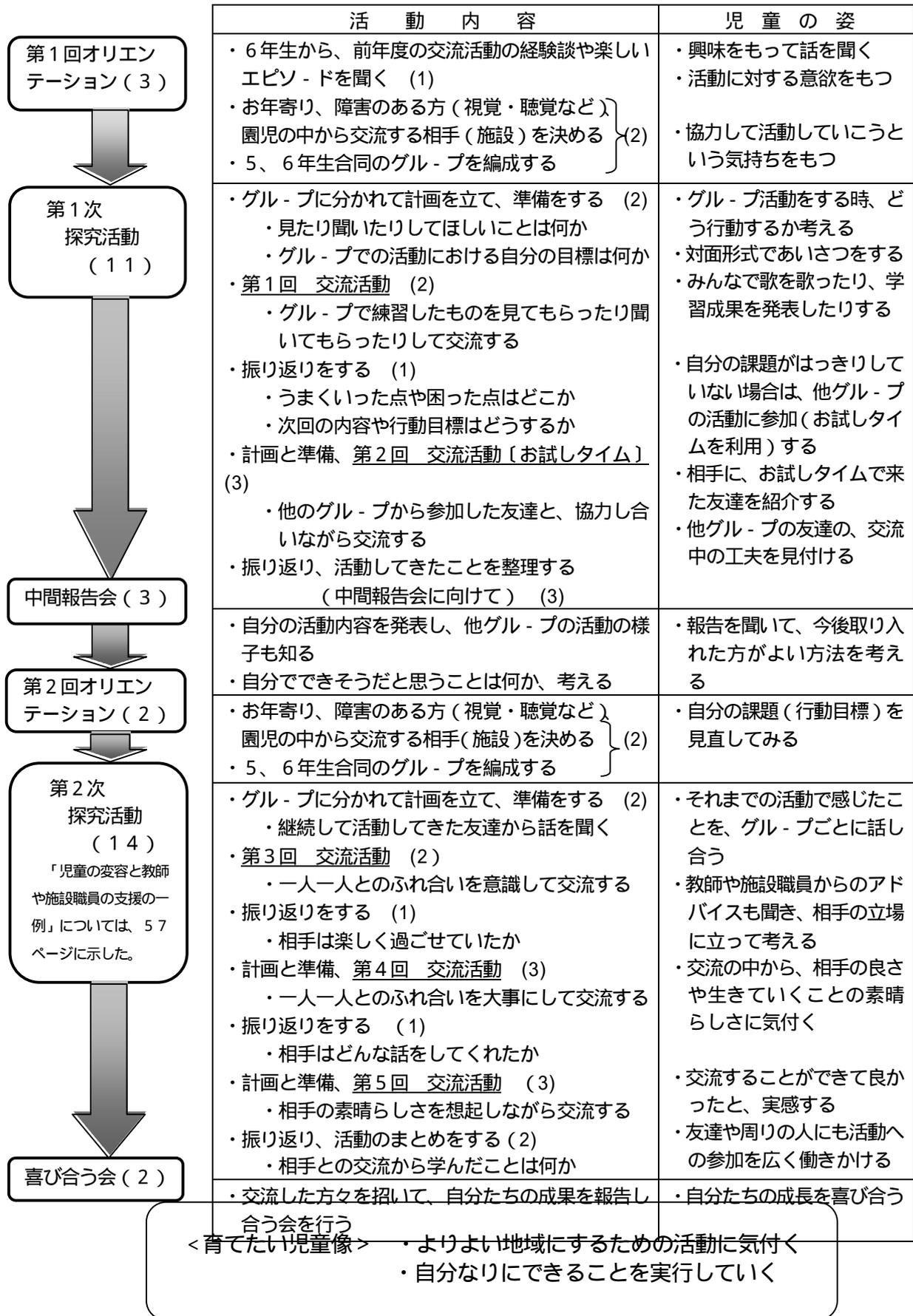


5・6年 「人と地域と深くかかわる」 総合的な学習の時間
(全35時間扱い)
<学習活動計画> ():時数



教 師 の 支 援	留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度活動してきた6年生の頑張りや心の深まりを認め、5年生に話をすることで意欲を高めていく ・交流する相手（施設）は、仮決定であることを伝える ・協力したり、考えや思いを伝え合ったりすることの大切さについても話を 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流する相手（施設）は学校や地域の実態に応じて決定し、依頼しておく ・質問する時間を確保する グル-プワ-クトレ-ニング
<ul style="list-style-type: none"> ・交流する相手のことを想像しながら考えるよう声をかけ、6年生には前年度の活動での反省点をふまえた目標設定を促す ・お互いに慣れる意味も考えて、グル-プのメンバー全員による出し物（発表）を行ってもよいと助言する ・実際に施設に行った時に、交流中の相手の様子や表情をよく見てくることの意識付けを図る ・振り返りの時間に出された意見を次回に生かすよう、声をかける ・他グル-プの活動の良い点を、活動に参加する中で見いだしたり、自分の活動に生かしていける部分を見付けたりする機会にするよう助言する ・活動の様子を分かりやすく伝えるためには、どんな報告の仕方がよいか相談するよう促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・立てた行動目標を意識しながら、活動していくことを押さえる ・場合によっては、安全管理の面で保護者に協力を依頼する ・「お試タイム」について説明する ・活動を進める中で、必要に応じて施設側と打ち合わせを行う ・「中間報告会」について説明する ・報告会に向け、機器など必要な物を準備しておく
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の頑張りを認める ・地域での、様々な活動への参加を呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校外（地域）でのボランティア活動について紹介する
<ul style="list-style-type: none"> ・交流する相手（施設）は、今回が本決定であることを伝える ・考えや思いを伝え合うことの大切さについても話を 	<ul style="list-style-type: none"> グル-プワ-クトレ-ニング
<ul style="list-style-type: none"> ・交流する相手に、もっと喜んでもらうためにどうするか、考えるよう促す ・6年生には、前年度の活動の様子も織り交ぜながら5年生にアドバイスしていくよう、声かけをする ・交流中の、相手の言葉や様子を思い出しながら、次回の活動内容を考えるよう助言する ・人にはそれぞれ良さがあることを話し、相手の素晴らしいところを感じることができるようにする ・児童の発言やつぶやきから、実感できたかどうかを見取る ・これからも続けよう・これからやっというと思うことは何か、考える時間をとる ・地域の一員なのだという自覚を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・場合によっては、安全管理の面で保護者に協力を依頼する ・活動状況を報告し合う場を設定する（掲示板や朝の会の時間等を使っていく） ・活動を通しての、児童の様子（変容）について、施設側と意見交換をする時間をとる ・「喜び合う会」について説明する
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、人や地域とのかかわりを大切にしていこう声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の交流日程等を、相談して決めておく

【児童の変容と教師や施設職員の支援の一例】（第2次探究活動 20/35 ~ 33/35）

小学校では「人に対する思いやりの心を育てていくこと・人とかがわることが楽しいと感じる機会を多くもつこと」が大切である。児童が様々な体験を積み重ねていく中で、地域や地域の人々に対する見方・考え方が広がっていくように、教師や周りの人々は適切な支援をしていきたい。

そこで高齢者施設入所者との交流活動を例に、児童の気持ちや行動の変化・その時々に応じた教師や施設職員からの言葉かけ等について以下に示す。

